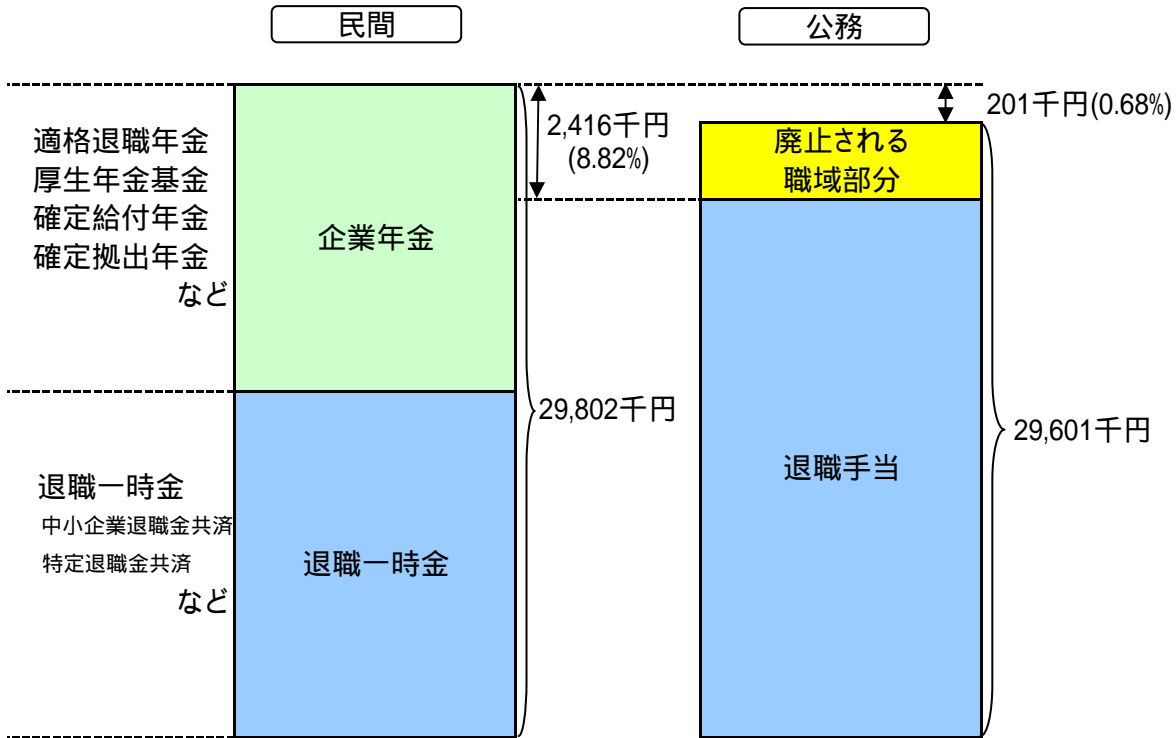


退職給付水準の官民較差
【平成18年退職給付調査結果（人事院）】

年金(使用者拠出分)、退職一時金を合わせた退職給付総額での官民比較
 民間 29,802千円 公務 29,601千円 (201千円 (0.68%) 民間が上回る)
 [共済職域の廃止後は 2,416千円 (8.82%) 民間が上回る]



- ・ 勤続20年以上の退職者を対象
- ・ 退職事由別（定年・勸奨）、勤続年数別のラスパイレス比較
- ・ 官民とも年金については退職時の現在価値に換算。換算率は、厚生労働大臣告示により定められている年金の最低積立基準額算出の予定利率2.20%（平成17年度）を使用